

2014

3

No. 102

Miyakojima City
Public Relations

広報

みやこじま

第35回 全沖縄おかあさんコーラス大会

主催/全沖縄おかあさんコーラス連盟・琉球新報社 共催/宮古島市・宮古島市教育委員会 協賛/キュービー株式会社



「おかあさん」から島へ届ける 美しいハーモニー

第35回全沖縄おかあさんコーラス大会が2月9日、マティダ市民劇場で開催されました。この大会は「ママさんバレーがあるのに、ママさんコーラスもあってしかるべき」といった発想から那覇でスタート。現在では全県に広がり、今回宮古島市で待望の初開催となりました。宮古島市からの5団体をはじめ県内27団体、約700人が出演し、美しいハーモニーを披露しました。



今月の主な内容



宮古島市イメージキャラクター
「みーや」

- 平成26年度 国民健康保険被保険者証の更新について P2
- 宮古島農業振興地域整備計画総合見直しを実施します P5
- 農業委員会委員選挙人名簿縦覧のお知らせ P14
- 消費税率引き上げにともなう上下水道料金変更のお知らせ P15

保険証と特定健診受診券がひとつになりました

国民健康保険被保険者証が、平成24年度（平成24年3月切替）から「保険証と特定健診受診券一体型」になりました。

新しい保険証は、納期限（2月28日）までに国保税を完納した世帯には、3月下旬頃までに各家庭に郵送します。

保険証は、国民健康保険に加入していることを証明する大切なものです。汚したり、紛失したりしないように大切に保管しましょう。

特定健診受診券

健診対象者である場合は、整理番号や受診期間が記載されています。

特定健診を受診したら医療機関が受診日を記入します。

※健診を受ける際は、この保険証を提示してください
お問い合わせ 国民健康保険課 ☎ 72-3751

国民健康保険被保険者証	交付年月日 平成26年03月01日
	有効期限 平成27年03月31日
☆保険証の見本☆	
記号 宮国 番号	1 2 3 4 5 6 7 8
コト 知	
氏名	国保 太郎
性別	男
生年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
資格取得年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
世帯主氏名	国保 太郎
住所	沖縄県宮古島市字国保1番地1
保険者番号	**470062 保険者名 宮古島市
自己負担額	基本健診 0円
整理番号	14199999999
受診期間	平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
特定健診受診券	特定健診を受けた日 平成 年 月 日

70～74歳までの被保険者に係る 窓口負担見直しについて

70歳から74歳の方の窓口負担は、法律上2割となっておりますが、特例措置でこれまで1割負担とされてきました。平成26年度から、より公平な仕組みとするため、この特例措置が見直されることとなりました。

見直しに当たっては、高齢の方の生活に大きな影響が生じることのないよう、平成26年4月2日以降70歳の誕生日を迎える方から段階的に実施されることとなりました。

◎平成26年4月2日以降に70歳の誕生日を迎える方（誕生日が昭和19年4月2日以降の方）

70歳の誕生月の翌月（ただし、各月1日が誕生日の方はその月）の診療から、窓口負担が2割になります。（例えば、平成26年4月2日～5月1日に70歳の誕生日を迎える方は、5月の診療から2割負担になります。）※一定の所得がある方は、これまでどおり3割負担です。

なお、窓口負担には毎月の負担上限額が定められていますが、70歳から2割負担となる方は、69歳までと比べて上限額が下がります。

◎平成26年4月1日までに70歳の誕生日を迎えた方（誕生日が昭和19年4月1日までの方）

平成26年4月以降も医療費の窓口負担は1割のまま変わりません。（平成26年3月2日～4月1日に70歳の誕生日を迎える方は、これまでの3割負担から1割負担になります。）

※一定の所得がある方は、これまでどおり3割負担です。

※窓口負担の毎月の負担上限額も変わりません。

お問い合わせ
国民健康保険課 ☎ 73-1973

平成26年度

国民健康保険被保険者証の更新について

現在使用している国民健康保険被保険者証は平成26年3月31日で有効期限が満了となります。

平成26年2月28日までに保険税を完納した世帯には、国民健康保険被保険者証を簡易書留で郵送します。被保険者証は一人に1枚ずつ交付します。また、被保険者証は特定健診の受診券と一体型となっておりますので枚数、記載内容等をご確認ください。保険税の納付が済んでいない世帯（平成26年2月28日までに完納していない世帯）は下記の日程で被保険者証の更新と保険税の徴収を行います。対象世帯には、更新の通知が届きます。4月以降は、新しい被保険者証をお持ちでなければ、医療費を全額自己負担することになりますので忘れずに更新をお願いします。

場所	平良庁舎 国民健康保険課	伊良部庁舎 生活環境室	城辺庁舎	上野庁舎	下地庁舎
時間	9:00~17:00 (12:00~13:00 は昼休み)		9:30~17:00 (12:00~13:00 は昼休み)		
3/24 (月)	南西里1区・2区、神屋、大三俵1区・2区・3区、大原1区・2区・3区、久貝、松原、馬場、北西里、根間、下屋、羽立、出口、東	前里添	保良、七又、吉野、新城、皆福、福東、福中、福西、福北、福南、西東、仲原、加治道、長北	—	嘉手苧、高千穂、与那覇、入江、与那覇団地、洲鎌、来間
3/25 (火)	前比屋、上角、漲水、栄、仲屋、高阿良、仲保屋、荷川取、保里1区・2区、腰原1区・2区、富名腰1区・2区、添道、成川、下崎、漲水学園、厚生園	池間添	長南、吉田、比嘉、長中、西西、西中、砂川、友利、下南、下北	上野、上野第1団地、上野第2団地、新里、新里団地、新里第2団地、高田、高田団地、高田第2団地、野原、野原団地	—
3/26 (水)	東根1区・2区・3区・4区、旭、七原、地盛、山中、盛加、野原越、細竹、宮原、高野、福山、西原、大浦、島尻、狩俣、大神、池間、南静園	伊良部 佐和田 仲地 国仲 長浜	—	県営上野団地、宮国、宮国団地、宮国第2団地、千代田、千代田団地、名加山、豊原、博愛団地、大嶺、大嶺団地	県営下地団地、上地、上地団地、川満、川満団地

※窓口での更新には「被保険者証」と「印鑑」が必要です。

※更新日に都合の悪い方は、3月24日以降に各庁舎国保窓口で更新してください。

時間：平日 9:00 ~ 17:00 (12:00 ~ 13:00 は昼休み)

注：城辺、上野、下地庁舎では、更新指定日のみ窓口での保険税徴収を行います。

指定日以外は下記の取扱となります。

☆窓口での納付書再発行→金融機関、コンビニで納付→納付確認後被保険者証交付

※学生用の被保険者証の交付は平成26年4月1日以降に各庁舎国保窓口で手続きをお願いします。その際は、「被保険者証」と平成26年4月1日以降に学校より発行された「在学証明書」が必要となります。

お問い合わせ
国民健康保険課 ☎ 73-1973

宮古島農業振興地域整備計画総合見直しを実施します

農業振興地域整備計画は、おおむね5年ごとに基礎調査を実施し、その結果に基づいて見直すことが農業振興地域の整備に関する法律（農振法）で定められています。

宮古島市は、市町村合併に伴い平成22年3月に整備計画を策定しており、平成25年度から行っている基礎調査の結果に基づき、平成27年度をめどに総合見直しを完了する予定です。

★要望書配布・・・平成26年3月10日(月)～

★地域説明会・・・平成26年4月～

★要望受け付け・・・平成26年6月2日(月)～7月31日(木)

総合見直しの実施にあたり、市民のみなさんの編入、除外、用途変更(概ね3～7年以内に計画がある場合)等の要望を受け付けます。

- 編入・・・農用地区域外の農地に補助事業を導入したい場合
(基盤整備事業、畜舎・堆肥舎、園芸施設(ハウス)、農機具倉庫等)
- 除外・・・農用地区域内の土地を農業以外の目的に利用したい場合
(住宅、公共施設、墓地、アパート、事業所、資材置き場等)
- 用途変更・・・農地を農業用施設として利用したい場合
(畜舎・堆肥舎、農機具倉庫、農産加工施設等)

※農用地区域からの除外については、5つの除外要件をすべて満たさなければなりません。

除外要件

- ①必要性が高く、農用地区域以外に代替すべき土地がないこと。
- ②農地の集団性、効率的な土地利用に支障がないこと。
- ③認定農業者、特定農業団体や特定農業法人等の効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対する農地の利用の集積に支障を及ぼすおそれがないこと。
- ④ため池、水路、農道等への支障がないこと。
- ⑤農業生産基盤整備事業完了後8年を経過していること。



★一部変更の受け付けを一時休止します

総合見直し期間中は農用地区域の除外や用途変更などを行うことができなくなりますので、編入、除外、用途変更等の計画(1年以内)がある方は、9月30日までに申請してください。

★受付場所&お問い合わせ先・・・農政課(上野庁舎1階)農政係 ☎76-6840
〒906-0204 宮古島市上野字上野395-1

宮古島市農地賃貸借料情報について

平成21年の農地法等の一部改正に伴い、これまでの標準小作料が廃止されました。これに代わり、毎年1月から12月までの間に締結された賃貸借契約の実績をとりまとめ、農地賃貸借料情報として提供することになりました。農地の賃貸借契約にあたっては、「表1」を参考に賃借料を設定して下さい。

【表1】平成25年1月～12月 (10aあたり)

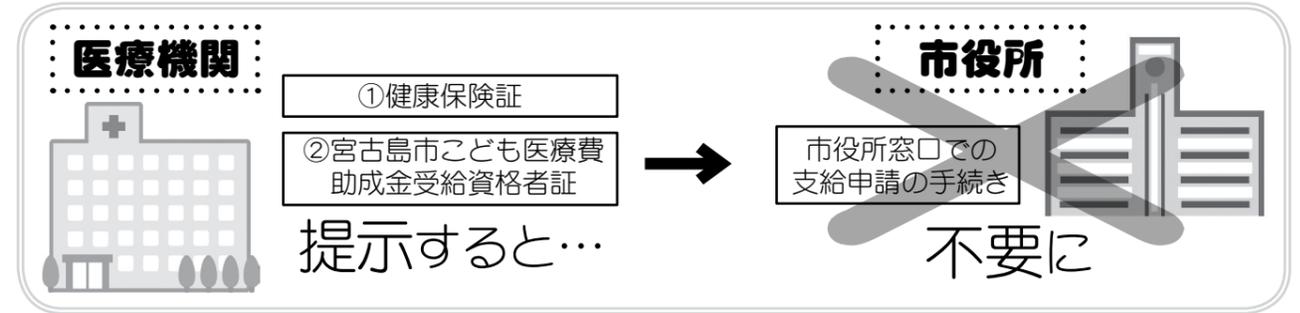
宮古島市全域	平均額	最高額	最低額	データ数
基盤整備地区	11,800円	24,000円	5,000円	78件
未整備地区	10,210円	25,000円	5,000円	104件



お問い合わせ
農業委員会 農地係 ☎76-3236



宮古島市子ども医療費助成 自動償還払いがスタート



医療機関で「健康保険証」と「宮古島市子ども医療費助成金受給資格者証」を提示することにより、これまで行っていた市役所窓口での支給申請の手続きが不要となります。

「自動償還払い」とは？

県内の協力医療機関等での受診の際に、窓口にて「健康保険証」と「宮古島市子ども医療費助成金受給資格者証」を提示し、医療費の自己負担分を全額支払うことで、助成金支給申請となります。

助成金は、原則として診療月の翌々月の25日(土日・祝日の場合は前日)に自動的に指定された口座へ振り込まれます。

利用するには？

県内の協力医療機関等での受診の際に、窓口にて「健康保険証」と「宮古島市子ども医療費助成金受給資格者証」を提示してください。毎回の提示が原則となりますので、受給資格者証の提示がない場合は、「自動償還払い」による助成金の支給はできません。その場合、これまで通り宮古島市役所児童家庭課窓口にて支給申請の手続きをしていただくことになります。

※現在の「宮古島市子ども医療費受給者証」は、平成26年4月1日以降は使用できなくなります。すでに「宮古島市子ども医療費受給者証」をお持ちの方については、新たに「宮古島市子ども医療費助成金受給資格者証」(オレンジ色)を平成26年3月下旬頃に、登録の住所へ送付いたします。お持ちでない方は、資格者証交付申請が必要となります。宮古島市役所児童家庭課窓口にて手続きを行って下さい。

※平成26年3月31日までの受診分については、これまで通り宮古島市役所児童家庭課窓口にて支給申請の手続きが必要です。(領収書の支給申請の受付は、診療月の翌月以降1年以内となりますので、支給申請が済んでいない場合は、お早めに手続きをしてください。)

お問い合わせ 児童家庭課 児童母子係 ☎73-1966

特別障害者手当・障害児福祉手当等の手当額が改訂されます

	平成25年10月～平成26年3月(月額)	平成26年度(月額)
特別障害者手当	26,080円	26,000円
障害児福祉手当	14,180円	14,140円

お問い合わせ 障害福祉課 庶務給付係 ☎73-1975

基本的人権の大切さを伝えたい

「みんなHappy人権コンサート」が2月1日、マティダ市民劇場で行われました。これは人権尊重思想の普及・高揚を図ることなどを目的としたコンサートで、みやこ少女少女合唱団が美しい歌声と「人頭税オリジナル音楽劇」で観客を魅了したほか、下地勇さんも宮古方言の名曲を歌い上げ、会場に訪れた人たちに思いやりの心、人権に対する意識の高揚を呼び掛けました。



主催者あいさつで下地敏彦市長は、「このコンサートを通して命の尊さ、かけがえのない人生について再認識し、基本的人権の尊重の大切さについて感じてほしい」と述べました。



第1部は「心のハーモニー」と題して、みやこ少女合唱団が美しい歌声を披露。「Smile～君はひとりじゃない～」では最後の舞台となる中学校3年生の7人が息の合ったハーモニーで歌い上げました

第2部の下地勇さんコンサートでは、下地さんが軽快なトークとマークフツの歌を披露。

第3部の「人頭税オリジナル音楽劇」では、みやこ少女合唱団が人頭税の歴史を音楽劇で紹介しました。



初のオリジナル創作劇 大成功!

「宮古島市こども劇団」第1回オリジナル創作劇「はしり星にのって～あの空となり海となり～」(主催・宮古島市、市教育委員会)が1月26日、マティダ市民劇場で上演されました。

設立3年目のこども劇団は、劇団員は高校生から小学生までで構成されており、演劇を通して人格の形成を図ることで他者との関わりや自己の客観視する力、社会性を理解する力などをつけます。また内在している潜在能力を引き出せるよう支援していくことで、子どもたちの心の成長に寄与することを目的としています。



初のオリジナル劇となる「はしり星にのって～あの空となり海となり～」は宮古島が舞台。現代に生きる子どもたちが昔の宮古へタイムスリップし、昔の人々と交流する中で島の歴史や文化を学んでいくものです。方言を織り交ぜた舞台では、団員たちは人頭税時代の重苦しい雰囲気演技したほか子ども同士の場面では観客を笑いに誘い、最後は元気なクイチャーを踊りました。

進んでいます! エコアイランド宮古島

宮古島市小型電動モビリティ等の活用に係る社会実験プロジェクト推進協議会(代表幹事:宮古島市)は、国土交通省の超小型モビリティ導入促進事業を活用した「宮古島市小型電動モビリティ等の活用に係る社会実験プロジェクト」を1月28日より運用開始しました。



本実証事業は、宮古島市のビジョンである「エコアイランド宮古島」の実現に向けて、超小型電動モビリティおよび再生可能エネルギーと蓄電技術による充電ステーションを活用し、運輸部門におけるCO2排出削減、移動の経済性向上、災害時の安心感の確保、およびそれに伴う地域の活性化等、各施策の効果の検証を行い、離島における超小型EV活用モデルを提案していきます。

25年ぶりの栄冠!

沖縄本島一円を舞台に行われた県知事杯第37回沖縄一周市郡対抗駅伝競走大会で25年ぶり6度目の総合優勝を成し遂げた宮古島市代表選手団の本村邦彦監督、黒島昌樹主将、立津辰雄宮古陸協会長らが1月29日午後、市役所平良庁舎に下地敏彦市長を訪ね、優勝の喜びを報告しました。

下地市長は「久々の快挙。おめでとう。これまで良いところまで行っても最後の一步が足りなかった。返り咲きは監督に最高の贈り物になったのでは」と祝福しました。



宮古が誇る豊かな地域資源

那覇で開催された花と食のフェスティバル2014の「野菜品評会」「沖縄県農林漁業賞」「沖縄、ふるさと百選」にそれぞれ受賞、認定を受けた個人や団体の代表者が喜びの結果を報告に宮古島市役所を訪れました。

野菜品評会では宮古島市からカボチャ、ゴーヤー、トウガンの3品が金賞の他、合計11点受賞しました。

沖縄県農林漁業賞では宮古島市からは「沖縄県農林漁業賞」農産部門(サトウキビ)で勝連栄一さん、園芸部門(トウガン)にJAおきなわ宮古地区とうがん専門部会上野支部、農山漁村地域活性化部門(マンゴー)に農業生産法人大嶺ファームが受賞しました。

「沖縄、ふるさと百選」には今年度、宮古島市から2地域が認定されました。「沖縄、ふるさと百選」の認定では地域資源を活用した活性化策に取り組む「狩俣自治会」、会員一丸となって生産拡大を目指す「JAおきなわ宮古地区野菜・果樹生産出荷連絡協議会オクラ専門部会」が選ばれました。

